

令和3年度第3回県立高校将来構想検討協議会における協議の概要について

1 開催日時、会場

令和3年8月10日（火）午前10時～正午
県庁4階 共用第2会議室

2 協議の概要

(1) 高校教育を巡る現状と課題について

本年4月から6月に実施した生徒・保護者及び山口県企業を対象としたアンケートの結果について、資料をもとにシンクタンク（株式会社日本総合研究所）が説明し、協議

(2) 特色ある学校づくりについて

資料をもとにシンクタンクと事務局が説明し、特色ある学校づくりの考え方や方向性について協議

(3) 学校・学科の再編整備について

資料をもとにシンクタンクと事務局が説明し、再編整備の必要性、望ましい学校規模等について協議

(4) まとめ

今回の意見も踏まえながら、特色ある学校づくりと学校・学科の再編整備についての次期将来構想のたたき台を事務局がまとめることで全委員が了解した。

次回は次期将来構想のたたき台について協議をする予定

3 委員からの意見

(1) 高校教育を巡る現状と課題について

- ある程度の学校規模は必要であると思う。実際、再編整備をして学校規模が大きくなった中学校は活性化している。通学距離が遠くなった生徒もいるが、そのことを差し引いても、ある程度の学校規模は必要だと思う。
- 企業アンケートの結果を見ると、工業系、商業系の学校をもっと充実していくべきだということらえ方ができると思った。
- 県境の地域では、県外の高校や大学へ自宅から電車で通うことができるため、生徒・保護者にはあまり県外に流出しているという意識はない。

(2) 特色ある学校づくりについて

- 学校・学科を越えた連携というキーワードは大切である。
- 大学等への進学指導を拠点となって進める学校を配置することは必要である。
- 探究活動の充実や、大学で進めている文理融合、STEAM教育など、これからの時代の変化に対応した教育を推進していくことが重要ではないか。
- 文理融合型の教育ができる学校・学科の設置を検討してはどうか。
- 拠点校については、分散型都市構造にある本県の特性を踏まえて県内にバランスよく配置するのが望ましい。
- 山口県でも、深い学びができる中高一貫教育校の設置を検討してはどうか。

- 普通科については、幅広く学習する中であっても、それぞれの学校のスクール・ミッションに基づき、各学校の今までのノウハウを生かしながら、教科等横断的な学びや地域と連携した協働的な学びなどができる、生徒にとっても地域にとっても魅力的な学科が設置できるとよい。
 - 生徒の農業に対する興味や関心が農業関連への就労に繋がるため、スマート農業などの体験学習にも取り組んでもらいたい。
 - 企業や大学等との連携による人材育成というキーワードは大切である。
 - ICTを活用し、地元企業との連携や、他校の生徒と繋がる学習を充実させるとよい。
 - 「確かな学力の育成」や「学び直し」といった言葉を入れるといいのではないか。
 - 県外からの生徒を山口県に入れることができないだろうか。
- (3) 学校・学科の再編整備について
- 高校の再編整備を検討するに当たり、主役は生徒であるということを大切にしてほしい。
 - 少子化の進行に遅れることなく再編整備を計画的に進め、県内にバランスよく配置してほしい。
 - 再編整備については、望ましい学校規模だけではなく、特色ある学校づくりとセットで考えていく必要がある。
 - 他学科と協働して教育活動を進めていくことが重要だと考えているが、そのためにも、学校規模の拡大は必要である。
 - 学級数が少なく、教員数が少ない学校では、教科に1人しか教員が配置できず、専門外の科目を担当するという状況がある。教員数が多ければ、教科に複数の教員が配置でき、相互の授業研究などにより、教員の資質能力の向上や授業の充実を図ることができる。
 - 学校規模の大小に関わらず、学校が行わなければいけない仕事の量というのは一定量あるため、教員数が多い学校では教員の負担が軽減されるが、教員数が少ない学校では負担が大きくなる。働き方改革の観点からも、学校規模は大きい方がよい。
 - 子どもの数の減少により、学校が小規模化する中で、これまで行ってきた教育活動を行うことが難しくなっている。
 - 分校では現在、少人数ならではのメリットを生かしてきめ細かな指導を行っており、成果を出しているが、その一方で、選択科目や生徒がやってみたい部活動が設定できないといった状況もあり、選択幅の広い教育の推進や多様な人々との協働、活力ある教育活動の展開が難しいと感じている。
 - 分校においては、列車で通学してくる生徒の割合が以前に比べて多くなっており、地元の生徒が減ってきていると聞いたことがある。
 - 今ある分校についてということではないが、今後の再編整備においても、現行の将来構想と同様、ある程度の学校規模をめざして進めることも必要ではないか。
 - 選択幅の広い教育や活力ある教育活動の展開、生徒同士が切磋琢磨する環境づくりなど、高校教育の質の確保・向上を図るために、再編整備を進めていく必要がある。
 - 定時制・通信制課程や学科についての再編整備も示すとよいのではないか。
 - 高校教育の質の確保を図る観点や地理的条件、交通事情による生徒の教育への影響等を総合的に勘案するということは記載してほしい。
 - 再編整備については、私立高校の配置なども含めて検討し、進めてほしい。